

嗜みとしての「読書」

今から二つの質問をします。「読書は好きですか?」「漫画は好きですか?」

今、どちらにも「はい」と答えた人はどれくらいいるのでしょうか。これらの質問に対して、前者には「いいえ」、後者には「はい」と答えた人が少なからず一定数いるのではないのでしょうか。

ここに、少しおかしな点があることに皆さんは気づきますか。それは、漫画を読むことも立派な読書であるのになぜか読書としては認識していないという点です。これが意味していることは、読書が少し難しく捉えられているということです。本来、読書というものは漫画のように嗜みとしての行為であるはずです。そのため、漫画を選ぶような感覚でこの本面白そうと様々な分野の本を手にとって読んでみることをおすすめします!

本図書館は、日頃から多くの学生が利用しています。本を読んでいる人はもちろん、授業の課題や資格の勉強、又グループ学習室やラーニングcommonsといったブースを利用して、ディスカッションや勉強会を行っている人など様々な人がいます。私自身も学校の課題や資格の勉強などでよく図書館を利用しています。皆さんも是非図書館を利用してみてください!



データサイエンス学部 3回生 水越 康成